

# 平成二十五年度主要事業への補正予算 可決

町長の任期満了が四月末であったため、骨格予算として編成されていた平成二十五年度予算について、六月十七日から始まった六月定例議会において主要事業に係る補正予算案が審議され、最終日の七月一日に可決されました。

計予算額は百四十億五千万円となりました。  
 主な内容は次のとおりです。

【布勢幼児園改修事業】  
 予算額 約四千二百万円  
 既存施設の改修と増築を行います。

【町道改良整備事業】  
 予算額 約六千八百万円

テレビ電話などの情報端末を活用し、防災防犯情報などの生活支援サービスやデジタルサイネージ(広告)など地域主体で参画し、暮らしたくなるまちづくりを目指します。

【馬木農村公園  
 管理棟整備事業】  
 予算額 約三千九百万円

農村公園に隣接する管理棟を新築し、地域の皆さんが公園、施設を今まで以上に活用しやすくします。

【消防格納庫建設事業】  
 予算額 約五千七百万円

太鼓や神楽など郷土芸能を伝承し、それを中心に都市部との交流を図れる施設を整備します。(二箇所)  
 団員の待機場所確保等による整備です。(二箇所)

▶ スマートタウンのイメージ図



## 四つの県の境に接する四郡市が奥出雲町内で熱戦!

第六十三回となる四県四郡市総合体育大会が八月十一日に奥出雲町で開催され、町内十カ所の会場で熱戦が繰り広げられました。

この大会は、県境を接する広島県庄原市、岡山県新見市、鳥取県日野郡と仁多郡の住民がスポーツを通じ交流を図り親善の実を上げることが目的に昭和二十五年から開催されており、それぞれの郡市で会場を持ち回っています。

種目は、陸上競技、バレーボール、ソフトテニス、剣道、卓球、軟式野球、ゲートボール、グランドゴルフ、柔道と

多岐にわたり、全国的に猛暑日となる中、選手は郡市の代表として真剣に競技に取り組みました。  
 なお、結果は合計得点六十一点で新見市の優勝となり、仁多郡は惜しくも準優勝でした。

## 各会場の様子



## 島根県消防操法大会

### 阿井分団、鳥上分団が見事な操法を披露

八月四日、第五十七回島根県消防操法大会が江津市で開催され、奥出雲町を代表して小型ポンプの部に出場した奥出雲町消防団阿井分団は百九十六点で、悲願の初優勝となり、来年十一月に東京で開催予定の全国大会の出場権も獲得しました。

ポンプ車の部に出場した鳥上分団は五位入賞となりました。



▶ 優勝した阿井分団出場隊



▶ 五位入賞の鳥上分団



▶ 凱旋パレードにも多くの人出

## 各地区で町執行部と熱い議論

七月三日の馬木地区を皮切りに各地区にて町政座談会が開催されました。

座談会には自治会長を中心に地区の住民が参加し、その地区が考える二つの重点意見・要望を基に町執行部と活発な議論が行われました。

八月五日、九地区の締めとなった横田地区の座談会では、フリーマーケットで高齢者向けの庁舎設備の充実や、高速

道路への接続方法、観光客誘致の方法など様々な意見要望が述べられ、井上町長を中心に、意見に対する対応案や将来像が執行部から語られました。

なお、各地区から頂いた重点意見・要望に対し座談会時に回答した内容は、八月広報配布に合わせ自治会回覧をする予定です。

### ～町政座談会～



▲ 座談会(横田地区)の様子

## 仁多郡林業研究グループ

## 中四国ブロック最優秀賞受賞



▶ 大島会長(左)と響副会長

七月二十三、二十四日に岡山市で開催された第十九回中国・四国ブロック林業グループコンクールにおいて、仁多郡林業研究グループ(大島重昭会長)の研究発表が、参加七団体の中で最高となる最優秀賞となり、平成二十六年二月に行われる全国大会へ出場することとなりました。

同研究グループは「健全な森を次世代へ」をテーマに、森林環境の調査、それを基にした子どもたちへの教育、自主的な手入れ(自伐)を三本柱とした研究に取り組み、今回の受賞となりました。